神戸新聞 2020年07月17日 金曜日 面名 朝一 １４ 1ページ

藤井七段 最年少タイトル

17歳11カ月、棋聖奪取

最年少タイトルを獲得し、笑顔で会見に臨む藤井聡太棋聖＝16日午後、大阪市福島区の関西将棋会館（撮影・吉田敦史）

将棋の藤井聡太七段(17)は16日、大阪市の関西将棋会館で指された第91期棋聖戦5番勝負の第4局で渡辺明棋聖(36)を破り、対戦成績を3勝1敗とし、最年少の17歳11カ月でタイトルを獲得した。1990年、屋敷伸之九段(48)が作った18歳6カ月を30年ぶりに更新。若き棋聖の誕生で新時代の幕が開けた。（3面に「人」、27、29面に関連記事）

快挙を成し遂げた藤井新棋聖は「一つの結果を残せたのは、うれしいです。5番勝負で得たものがいろいろあった。成長につなげられるようにしたい」と感慨深そうに話した。

対局は難しい形勢が続いたが、終盤の素早い攻めで優勢に立ち、110手までで振り切った。

タイトル保持者となった高校生プロは、1日に開幕した王位戦7番勝負で木村一基王位(47)に挑戦。第2局を終えて2連勝とリードし、二冠目の獲得を目指している。

藤井新棋聖は、2016年10月のプロ入りから、3年9カ月でのタイトル獲得。最速は屋敷九段の1年10カ月。タイトル獲得の最多記録は、羽生善治九段(49)の通算99期となっている。棋聖戦は八大タイトル戦の一つ。5番勝負の勝者は、「棋聖」の称号を1年間名乗ることができる。

愛知県瀬戸市出身の高校3年生。最年少の14歳2カ月でプロとなり、17年6月にはデビューから無敗で最多の29連勝を樹立した。18年5月、最年少で七段に昇段。19年2月には、全棋士が参加する一般棋戦で2連覇した。6月8日の棋聖戦第1局で、17歳10カ月20日の最年少タイトル挑戦を果たした。

責任ある立場に

藤井聡太新棋聖の話　（今日は）最後まで際どいと思っていた。渡辺先生と5番勝負で対局して勉強になったところが多い。実感はないが、責任ある立場になる。これからも楽しんで見ていただけるよう、精進していい将棋を指していきたい。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【　　】

① 藤井聡太七段の将棋界最年少タイトルの記録を書きましょう。

□ 歳 □ カ月

② 更新した今までの記録について書きましょう。
1990年に
□□□□ 九段が作った □ 歳 □ カ月を □ 年ぶりに更新した。

③ 藤井七段のこれまでの記録をまとめてみましょう。

㋐最年少の □ 歳 □ カ月でプロとなる。

㋑17年６月、デビューから無敗で最多の □ 連勝。

㋒18年５月、最年少で □ 段に昇段。

㋓19年２月、全棋士が参加する一般棋戦で □ 連覇。

④ 藤井新棋聖のタイトル獲得後の話と、その偉業について感想を書きましょう。